



子育て伴走「そげだがあ」通信 No. 3 ～みんな大切 笑顔あふれる家庭と保育園に～



R 4 . 6 . 3 0 やすぎ保育園園長 福島朗博

◆6月の園風景から 本物を見せる、本物にふれるということ

6月10日の「時計の日」にちなんで、そら組さんは時計を制作します。ただ作るだけではもったいないと、そら組の先生はこの機会に園から散歩の距離にある「ニューアサノ」店主様をお願いしたところ、快く時計を見学させていただきました。先生の「いろいろな種類の時計を見せたい！」思いが伝わって、子どもたちはお店の方から次々紹介されるキャラクターものから壁に掲示されているもの、それからあの「大きなのっぽの古時計」もお宝のように展示されていて、興味津々と瞳をキラキラさせていました。それはまさに本物だけが放つ力、魅力です。近頃は大型店舗が増えてコーナーで見かけたとしても、このような専門店などでじっくり物を見る機会は減ってきたのではないのでしょうか。改めて、手間をかけてでも様々な本物を見たりふれたりする体験を大事にしていきたいものと思いました。



お店の方からも「保育園からは初めてで元気もらえて嬉しかったわ。」とありがたいお言葉いただきました。仕事中にもかかわらず、小さな訪問客を受け入れていただき感謝いたします。

上写真は店内でたくさんの時計を見つめる園児たち

下写真は年長児さんの時計の作品（ただいま制作中！）



◆ことば・子育て相談会から ファミリーデーにちなんで ～家庭というもの～

保護者の皆様と子育てのお話をうかがうと、お子さんを家庭の中で大切にしておられる様子がひしひしと伝わってきます。「家庭っていいな。」と思います。また、園の事務室の窓から眺める夕方のお迎えの時間帯は私の好きな情景場面のひとつです。今から家庭へ帰れる安堵感や喜びの子ども表情がシフトチェンジのように浮き出されるからでしょうか。一方で、家族の中の様々な人間関係が子育ての悩みにつながっていることもあります。子どもにとって初めての社会の縮図となる「家庭」のもつ性質と営みゆえと言えるでしょう。

本園では6月に、ファミリーデーと称して、各クラスで家族みんなに感謝の気持ちをこめて制作したプレゼントを渡しています。そこで今回は、相談会でも引用して保護者にお渡ししている資料『家庭の役割』をもとに、家庭における養育の重要性についてふれたいと思います。

「障害を持つ子どもと家族」菅原廣一、大石益男他編（明治図書）を参考に一部引用しました。

一人で食べるより
みんなで分け合っ
て食べた方がもっ
とおいしいな！



これが家庭のもつあたたかみ
家庭が家族に与えるあたたかみ

家庭における
養育の重要性について



＜家庭の役割＞ (菅原廣一, 1995)参考

- ・ 健康な体と、心をつくる場
- ・ 子どもにとって、他のどこよりも安心して振舞える場
- ・ 世の中で一番好きで大事な人と暮らしながら学べる場
- ・ 人とのかかわり方、人としてのふるまい方を学ぶ場
- ・ やり直しや繰り返しが許される場

「育つ～育てられる」を通して
親子が一緒に成長する場

家庭は、家族の心と体の健康をもたらすオアシスです。では子どもにとってどんな意味があるのでしょうか。

① 人とのかかわり方を学び、熟成していく場

生まれたそのときから始まって、人との関係を初めて学ぶところ。そして、親子という異世代関係ときょうだいという同世代関係の中で両者を同時に、しかも実際生活を通して経験できる絶好の場で、周囲の人とかかわっていく際の基本的なことを学ぶところです。

② 物の働きや操作方法と使用のルールを学んでいく場

保育園や学校よりも品物の種類の多さ（しかも生活の必需品ばかり）でまします。使い分けのルールや品物の貸し借りについて緩やかな約束事を経験しながら、物自体の働きと操作方法を学ぶと同時に、物を使用する際の社会的ルールを習得していきます。そして、暮らしの中で、物を大切に、食べ物に感謝するなど心の育ちが促される場所です。



③ ことばを吸収し熟成していく場 学習言語に向かうための生活言語を身につけていく場

乳幼児期は大好きな大人との関係によるコミュニケーションをベースに、実際の生活場面の中で具体的に使われることば（「生活言語」「話し言葉」といいます）を身につけていくところです。小学校に入学すると授業で教科書などを使って新しいことば（「学習言語」「書き言葉」といいます）を学んでいきますが、幼児期における生活言語が暮らしの中で気持ちを通させた豊かな体験や絵本の読み聞かせなど充実していると、スムーズに移行していくといわれます。

④ 人としてのふるまい方を学び、熟成していく場

上記①人との関係、②物との関係、③ことばの関係の3つを合わせた家族との暮らしを通じて、自らの望ましいふるまい方を臨機応変に的確に築きあげていくことを学ぶ場です。赤ちゃん時代の自己中心性から、加齢とともに物の大切さや扱い方を取得し、相手の気持ちや立場を考えて行動することを覚えていくように、徐々に周囲に合わせて自己を調整することを身につけていくところ、人としての心あたたまる、望ましいふるまい方を習得していくところです。

まとめになりますが、こうした家庭での「大事に育てられる」「かわいがられて育つ」経験が基本となり、これが、思春期を経て成年期へ力強く自立していくための、子どもにとって大きなエネルギーとなっていきます。



園長の

ことば・子育て相談会 次回は7月16日（土）に行います

1回の相談につき60分を予定しています

- ① 9:00～10:00
- ② 10:30～11:30
- ③ 13:00～14:00
- ④ 14:30～15:30

ご希望の方は下の申し込み書にご記入の上、担任または事務室へお渡してください。
* 平日がよい方はその由を申し込み覧にご記入ください。なお8月は出張でお休みしますが、ご希望があれば平日でお受けしますのでご連絡ください。締切7月12日（火）

実際にお子さんを連れてこられて、遊びながらかかわり方を見つけていただくことも大歓迎です!

..... ✕ ✕ きりとり ✕ ✕

7月の「ことば・子育て相談会」に申し込みます 【担任または事務室へ】

クラス _____ 組 _____ 幼児名 _____ 保護者氏名 _____

○希望の時間帯に○印を記入ください（複数可）

- ・ 7月16日（土）①9時～ ②10時半～ ③13時～ ④14時半～
- ・ 平日を希望（具体的に _____）

○相談したい内容（ _____ ）